

・11月27日(土) 京都会場

立命館大学 朱雀キャンパス
5階 大講義室(ホール)

〔場所:京都市中京区西ノ京朱雀町1〕

テーマ： 職員の教学支援 職員による「学生の育て方」

開催の狙い

大学の教育力は、職員と教員の「協業」なしには維持・向上し得ない。「何を教えるか」から「何を学んだか・身に付けたか」との学びの成果へのパラダイムシフトが本格化する中、SDとFDの連携は大学改革に欠かせない視点である。また、出口の質保証への責任が問われる中で、将来設計能力や社会性を身につけさせることも大学教育の大きな課題であり、そのためには正課授業と課外活動の有機的な相互作用が求められている。

現に、「学士課程の教育の構築に向けて」（平成20年12月24日）では、新たな職員業務として、教育方法の改革の実践を支えるファカルティ・ディベロッパーや、学生生活支援ソーシャルワーカーの例が挙げられるなど、教学分野における職員の役割期待は高まるばかりである。

今、職員はアドミニストレーターとして何をすべきか、との過渡期に来ている。大学改革における職員の力量形成の必要性についてはもはや議論の余地がないが、一方で、経営を担うスタッフとしての管理運営面の機能が強調される傾向にもある。しかし、本質である「教育」領域へ職員が積極的に参画することこそが実質的な教学支援であり、未来社会に貢献する人材を育成する大学の責務ともいえよう。

大学で人を育てるのは、教員だけではない。職員も、未来社会を担う学生を育成する自負を持ち、正課授業・課外活動を含めた「教育」に参画することが求められる。

そこで、本フォーラムでは、教学支援における職員の役割についてポイントを整理し、いくつかの大学から事例を報告していただいたうえで、今後の教学支援のあり方について協議していく。「学生を育てる職員」の役割を検討する機会として、幅広い層からの参加を期待したい。

プログラム

受付開始（12：30～） プログラム開始（13：00～）

（敬称略）

1．シンポジウム（13：00～17：00）

開会挨拶（13：00～13：10）

（1）基調講演（13：10～14：00）

安 藏 伸 治 明治大学政治経済学部教授

（2）事例発表（14：10～15：40）

遠 山 久 敬 武蔵野大学学生支援部長・キャリア開発課長兼務

森 川 園 子 国際基督教大学アカデミックプランニング・センター

辻 井 英 吾 立命館総務部人事課長

コーヒープレイク

（3）ディスカッション（16：00～17：00）

安 藏 伸 治 明治大学政治経済学部教授

遠 山 久 敬 武蔵野大学学生支援部長・キャリア開発課長兼務

森 川 園 子 国際基督教大学アカデミックプランニング・センター

辻 井 英 吾 立命館総務部人事課長

（司会・コーディネーター） 田 村 麻衣子 明治学院大学キャリアセンターキャリア支援課係長

2．名刺交換会（17：00～18：00）

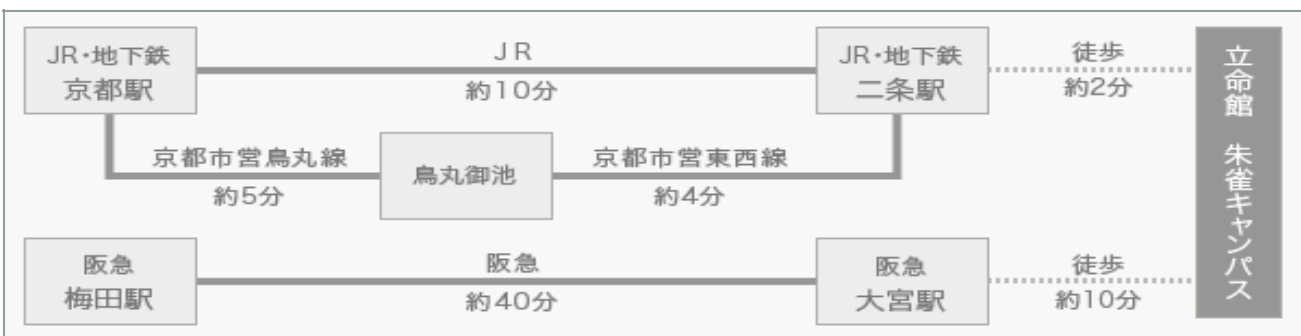
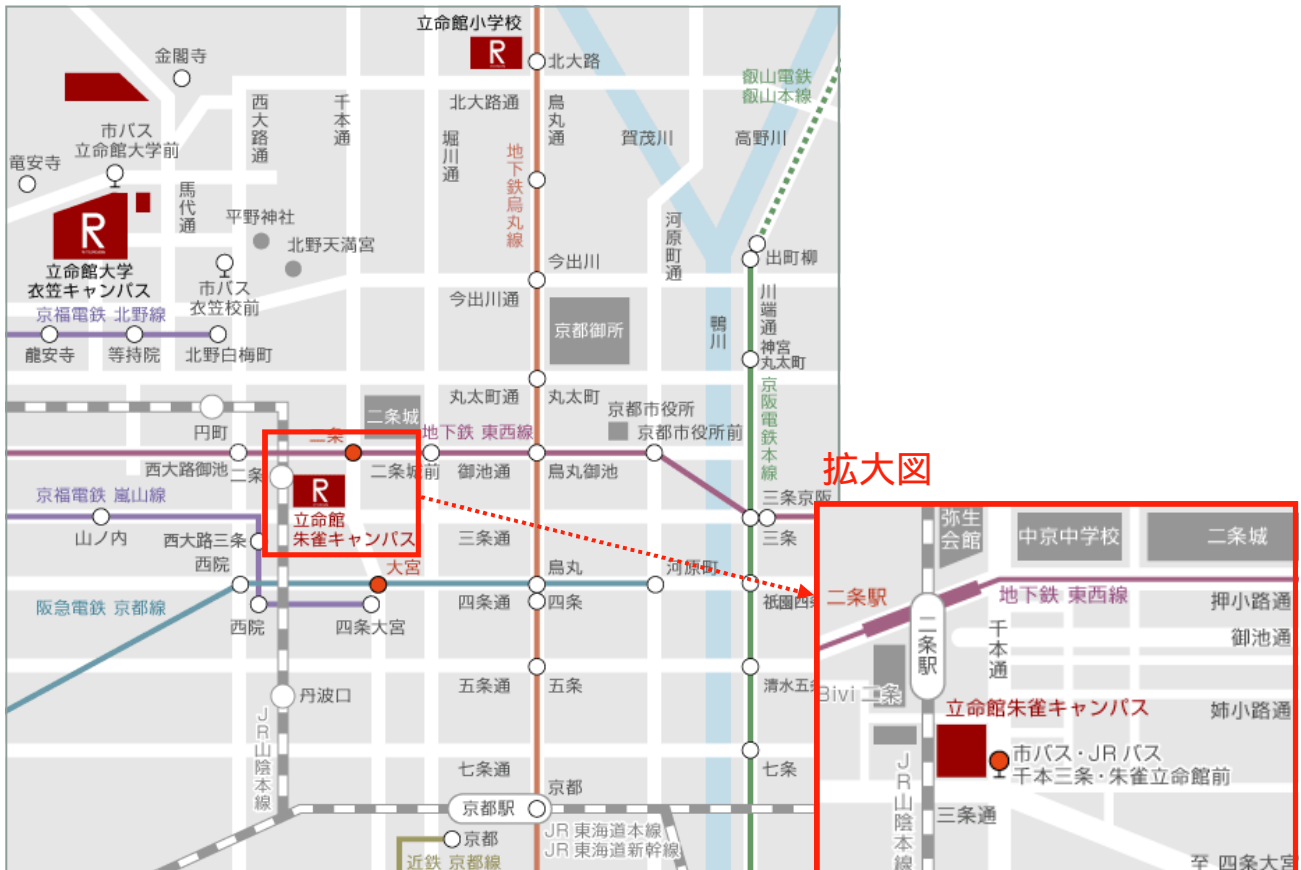
参加者の2名ほど事前にピックアップし感想の発表をお願いする。

立命館大学 朱雀キャンパス 5階「大講義室」

〒604-8520

京都府京都市中京区西ノ京朱雀町1

キャンパスまでの交通アクセス



会場案内図

